

技 術 委 員 会 報 告

技 術 委 員 会

令和6年度技術委員会事業として、技術講習会2回と施工事例発表会並びに安全体感教育を実施いたしました。

各事業ともに、会員各社から多数のご参加を頂き、熱心に聴講され有意義な中でつつがなく終了することが出来ました。会員皆様のご協力と当日準備のため、何かとお手伝い頂きました技術委員会委員ほかの皆様方にお礼を申し上げますとともに、次のとおり事業報告をいたします。

1. 技術講習会（その1）

日 時 令和6年7月18日（木） 9時から12時まで
場 所 Zoomを使ったオンライン講習会
出席者 63名
○講演
テーマ 「ICTの活用事例」
演題1 「DEN-UP 施工管理ソフトKANNA・写真管理Photo Manager」
講 師 共立電設(株) 植草 宏介 氏
演題2 「建築図面・現場管理アプリ SPIDERPLUS」
講 師 スパイダープラス(株) 井上 琢磨 氏



今年度1回目の技術講習会は、Zoomを使ったオンライン講習会での開催となりました。

テーマは、「ICTの活用事例」と題し、2社に紹介をしていただきました。まずは、全日電工連 DX技術拡充推進チームメンバーの共立電設株式会社 代表取締役社長 植草宏介氏に「DEN-UP 施工管理ソフトKANNA・写真管理Photo Manager」について、デモ画面を使って詳しい説明をしていただき、終了後には参加者からの質疑にも答えていただきました。

次に、スパイダープラス株式会社の井上琢磨氏に「建築図面・現場管理アプリ SPIDERPLUS」について、iPad画面を繋いで詳しい説明をしていただきました。

講習については、若手からベテランまで技術者の方や営業・事務の方まで多岐に受講していただき、「活用方法を実際に使用している方から教えて頂けたので、とても分かりやすかった。」や「実際

の操作も見せて頂き、勉強になりました。」また「使えそうなソフトの紹介であったので、上司と相談して導入を検討したい。」や「他社サービスを検討中でしたが、紹介していただいた内容も候補に入れようと思います。」など新たに導入を検討していた方からも参考になったなど様々なご意見を頂くことができました。

昨年は製品の紹介のみでしたが、今回は実際の使用方法などを画面で操作しながら説明を聞くことができ、大変有意義な講習会となりました。

2. 施工事例発表会

日 時 令和6年11月27日（水） 午前9時から12時まで
場 所 香川県産業交流センター（サンメッセ香川）2階 中会議室
出席者 88名（会場参加64名・Zoom参加24名）

○講演

演 題 「各社の施工事例から」

・事例① 「高松第一高等学校に伴う電気設備工事について」

発表者 四電エンジニアリング(株)土木建築部設備グループ 溝淵 正章 氏

・事例② 「丸亀競争場ナイター設備LED化工事について」

発表者 (株)四電工香川支店 妻鳥 真幸 氏

・事例③ 「令和4～5年度長尾小学校校舎改築工事（電気設備）について」

発表者 大一電気工業(株) 佐々木 大介 氏

総括アドバイザー 合同会社 アトリオデザイン 佐藤 公彦 氏

今年度の施工事例発表会は、会場での対面とZoomを使ったハイブリッドでの開催となりました。2年ぶりの開催ということもあり、会場には64名の方々に来ていただき、Zoomも24名の参加がありました。

テーマについては「各社の施工事例から」と題し、当協会正会員3社にお願いし実際に施工した工事内容で発表していただきました。今回は3社ともベテラン社員が担当し、各事例発表終了後に参加者と質疑応答を行い、最後に講師からそれぞれ講評をしていただく方法で実施しました。

ベテラン・若手技術者から実際に施工して難しかった点や留意したこと、使用した材料等具体的な質問があり、また、講師からは設計者側からとしての質問が出るなど発表者との意見交換ができ大変有意義な講習でありました。





3. 技術講習会（その2）

日 時	令和7年2月19日（水）	9時から12時30まで
場 所	香川県産業交流センター（サンメッセ香川）2階 中会議室	
出席者	36名	
○講演		
演題1	「新たな化学物質管理について」	
講 師	建設業労働災害防止協会 安全・衛生管理士 東 昭三 氏	
演題2	「建設現場における労働災害防止について」	
講 師	建設業労働災害防止協会香川支部 事務局長 岡川 正夫 氏	

今年度の2回目となる技術講習会は、建設業労働災害防止協会香川支部の講師2名の方にお話し講習していただきました。

テーマについては「新たな化学物質管理について」と「建設現場における労働災害防止について」です。以前の講習会時に実施したアンケート結果からテーマを選定し、建災防へ掛け合い今回の講習が実現しました。

講習内容は、現場で使用する機会の多い「ローバル」についてのリスクアセスメントの事例を使って説明していただき、厚労省や製品評価技術基盤機構のホームページ内にある化学物質の確認方法やリスク判定、防護手袋性能一覧表など実際に使えるサイトを教えて頂きました。また、労働災害防止では事故事例や各法改正、また石綿除去作業の改正ポイント等詳しく教えて頂き、参加者からも「知らないことが多かったが、今回の講習で理解が深まった。」や「非常に参考となりました。」、「労働災害については、講習を聞き新たに身が引き締まりました。」などのアンケート結果を頂き、大変有意義な講習でありました。



4. 安全体感教育開催

日 時 1回目 令和6年7月17日（水）午前8時30分 受付開始
 2回目 令和6年8月21日（水）午前8時30分 受付開始
場 所 高松市鶴市町1417-2 (株)四電工人材開発センター
出席者 14名（1回目9名・2回目5名）

若年労働者による作業災害の撲滅と安全意識の高揚を図るため、様々な危険作業を体験する安全体感教育を実施し、会員の技術の向上と知識の習得を得る機会を持ち、時代の要求に的確に対応できる人材の養成に努めるために開催したものです。

